

### 学生のベスト・コメント

[回答 11] 貴重なお話をありがとうございました。スウェーデンのように、国民が国民生活を豊かにするための負担を厭わないような国になるためには日本に何が必要なのでしょうか。日本の借金は一秒ごとに増加しているような状態で、増税は避けられないことだと考えるのですが、日本の政治家は、選挙に勝つための政策として、日用品にかける消費税を減らすことなどを掲げ、全く未来の国民生活のことを考えているとは思えません。未来世代のために私たちの負担が大きくなることは仕方ないことであると割り切らない限り、日本社会の成長は考えられないと思うのですが、どうお考えですか？

"[回答 43] 少子化が問題になっているわりに子育て支援制度はまだまだ十分というには程遠い。そのうえ一番結婚、出産率の高い 20 代から 30 代の男性の平均年収が 400 万円程度である点から見ても、一馬力で所帯を持って子供を育てることは難しい。子供を育てながら働ける制度が整い切らない日本においてこのジレンマはどう解消されるべきなのか疑問である。私個人としては今の日本で子供を育てながら働きたいとは到底思えない。

先生は仕事人間であったことに後悔があるとおっしゃったがそれは先生自身の意思の問題だったのか、もしくは労働環境の問題であったのかまた、どのような労働環境だったら後悔のない生き方ができたと思われるかお聞きしたい"

"[回答 28] 日本の部品メーカーがサムスンのギャラクシーなどの精密な部品を取り扱っているということは改めて日本の技術力の高さを証明するものだと思った。そういった部分が日本の強みであるし、世界の経済の根底を支えているのかもしれないとも感じた。

多様な生き方をしていくためには、マクロやミクロの視点から経済を見てどのような選択が最適なのかを見極める目を養っていく必要があるのではないかと今回の講義を通じて感じた。"

### 講師からのコメント

[回答 11] 高齢化社会は肉体的な年齢が高齢化するだけではなく、考え方や価値観の成熟化が伴わなければ老人の不満ばかりが幅を聞かす社会になってしまいます。国民の各層がスウェーデンのような合意形成がされていれば良いのですが、まずは我々一人ひとりがどういう社会を目指すべきかを考え、投票（選挙）を通じて「行動」することが第一歩です。国民に甘い言葉でおもねる政党を見破る目が大事です。

"[回答 43] 講義の中で「経済活動の黄金の三角形」で説明したように成長、競争、そして分配（弱者救済）のバランスが重要と話しました。分配の側面として、子育て支援とそれによる女性の社会進出を促進させることが日本の当面の最大の政策目標と考えます。またそれに伴うサービス産業としての新たなビジネスチャンスも広がります。

仕事人間であったことの反省ですが、周りから異質・変人と見られることを嫌ったことが最大の原因であると思います。私は私、という主張、個性をもっと出しても良い時代になっていると思うし、特に海外ではそのような自己主張を持たないと生きてゆけません。

[回答 28] Apple のような製品コンセプト、デザイン、ノンハブ（工場を持たない）等で差別化を図る企業、鴻海（台湾企業）のように生産・組立でのコスト競争力で利益を出す企業、基幹部品で利益を稼ぐ日本企業というように、分業化により企業が役割分担をしている産業が顕著です。鳥の目（マクロ）で経済が順調か変調をきたしているのを見る、虫の目（ミクロ）を通じて今まで常識と考えていた規制を疑う、そして魚の目（潮の目）から社会や世界の変化を感じ取る、という習慣を身に着けることが重要です。